

丸山泰教授への献辞

総合管理学部長 宮園 博光

丸山泰教授は鹿児島県出身で、東京工業大学理学部および同大学大学院理工学研究科を修了されました。その後、ライオン株式会社において研究開発、事業部門、ブランドマネジメントなど多岐にわたる分野でご活躍され、数々の成果を残されました。2013年には熊本県立大学総合管理学部の教授として着任され、豊富な実務経験を学問や教育に反映し、学生や地域社会に多大な貢献を続けてこられました。また、地域連携・研究推進センター長やキャリアセンター長を歴任され、大学の発展に大きく寄与されたそのリーダーシップは特筆すべきものです。

丸山教授の教育活動は、学生の成長に焦点を当て、「総合管理力」の育成に尽力されました。PBL（課題解決型学習）を取り入れた授業設計により、学生が実践的な課題解決能力を身につけ、地域社会や企業で即戦力として活躍できる基盤を築かれました。特に、「総合管理学実践」や「総合管理学実践演習」では、さまざまな文献や大学を調査のうえ、綿密な授業計画を立てられました。実践的な課題については外部組織と連携し、多くの企業の課題解決に取り組まれました。企業との連携においては、現場での経験を活かし、メンバーへの的確な指示や企業側への説得力ある交渉を行うなど、その手腕を遺憾なく発揮されました。私自身も授業の立ち上げに携わり、その情熱と緻密な準備に感銘を受けた次第です。また、地方創生やマーケティングに関する実践的な研究指導を通じて、多くの学生に現実の課題に取り組む機会を提供されました。その成果として、多くの卒業生が地域社会や産業界で活躍しています。

丸山教授は学内業務においても多大な功績を挙げられました。地域連携・研究推進センター長として大学と地域社会を結びつける活動を推進され、特に地域活性化を目的とした産学連携プロジェクトでは顕著な成果を上げられました。また、キャリアセンター長として学生のキャリア支援や就職活動をサポートし、学生が自信を持って将来に羽ばたけるよう基盤を築かれました。これらの取り組みは大学全体の評価向上に寄与するとともに、学部の広報活動にも革新的なアイデアで貢献されました。

学外においても、日本マーケティング協会のマーケティングマイスターや熊本市東区役所シンボルマーク選定委員、北区まちづくり懇話会委員長、熊本バス共同経営アドバイザーなど、数多くの重要な役職を歴任されました。さらに、講演活動やセミナーでは、地域社会や産業界におけるマーケティングやブランド戦略の普及・啓発に尽力されました。これらの活動を通じて、地域社会や産業界の発展にも大きく貢献されましたことに深く感謝申し上げます。

丸山教授のこれまでのご活躍と多大なご貢献に心より敬意を表するとともに、今後のさらなるご活躍をお祈り申し上げます。教授が築かれた功績は、これからも熊本県立大学と地域社会において輝き続けることでしょう。

最後になりますが、2013年からの12年間、本学の教育と学部の発展に多大なご尽力をいただ

いた丸山泰教授に、学部を代表して感謝の意を表しますとともに、ご退職後のご健勝とさらなるご活躍を心より祈念いたします。丸山教授、本当にお世話になりました。そして、心からの感謝と敬意を込めて、「お疲れさまでした」とお伝えいたします。